

ヨコハマ・パトリエンナーレ 2017 について

1 開催概要

- (1) テーマ センス オブ ワンネス sense of oneness^{※1} とけあうところ

※1 sense of oneness: 一体感

- (2) 会 期 平成 29 年 5 月 27 日(土)～12 月下旬

- ・第 1 部 (創作): 平成 29 年 5 月 27 日 (土) ～ 9 月 30 日 (土)
- ・第 2 部 (発表): 平成 29 年 10 月 7 日 (土) ～ 10 月 9 日 (月・祝)
- ・第 3 部 (展示): 平成 29 年 11 月～12 月

- (3) 会 場 象の鼻テラスほか

- ・第 1 部 (創作): 象の鼻テラスを中心に市内各所で実施
- ・第 2 部 (発表): 象の鼻パーク、象の鼻テラス
- ・第 3 部 (展示): 象の鼻テラス、横浜ラポール (港北区) など

市内数か所予定

- (4) 主 催 横浜ランデヴープロジェクト実行委員会
特定非営利活動法人スローレーベル

- (5) 共 催 横浜市

- (6) 助 成 平成 29 年度 文化庁 文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業

- (7) 認 証 beyond2020 プログラム[※]



※内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局 (beyond2020 プログラム事務局) が認証する日本文化の魅力を発信するとともに、2020 年以降を見据えたレガシー創出のための文化プログラム。

- (8) 総合ディレクター 栗栖 良依 (くりす よしえ/スローレーベルディレクター)



東京造形大学卒業後、イタリアのドムスアカデミーにてビジネスデザイン修士取得。全国各地を旅しながら、さまざまな企業や地域コミュニティをつなぎ、地域のプロデュースなどに携わる。

2010 年、右脚に悪性線維性組織球腫を発病し休業。2011 年 4 月に社会復帰し、「横浜ランデヴープロジェクト」のディレクターに就任。「スローレーベル」を設立。2014 年、「ヨコハマ・パトリエンナーレ 2014」総合ディレクター、現在はスローレーベル/スロームーブメント ディレクター/総合演出。2016 年横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞。

2 テーマについて

前回展「first contact」からの3年間は、出会った人と人が関係性を掘り下げ、相互理解を深めてきました。

今回展では、互いの個性や特徴を活かし合い、一体感を持って、社会にあふれる「壁」や「境界線」とかしていく瞬間を、参加した方に体感していただける場にしたいと考え、「sense of oneness とけあうところ」としました。

第2部のフェスティバル「不思議の森の大夜会」では、テーマを象徴するように、多様な人がそれぞれの文化や価値観の違いを超えて、とけあい、ひとつの世界を創り上げます。

3 今回展の特徴

(1) 創作、発表、巡回展示の3部構成で実施

今回展では、協働のプロセスとその成果の波及を大切にするため、全体を創作、発表、巡回展示の3部構成にしています。

(2) 多様な市民とプロのアーティストが協働して創り上げるアートプロジェクト

前回のヨコハマ・パラトリエンナーレ2014に引き続き、制作から発表、運営、成果の共有に至るまで、障害の有無に関わらず多様な市民が参加し、プロのアーティストと協働してフェスティバルを創り上げます。

(3) 障害のある方の創作活動を支える人材を発掘・育成

前回展の課題を踏まえ、障害のある方が創作活動に参加しやすくなる工夫として、アクセスコーディネーター※2やアカンパニスト※3など、人材の発掘・育成にも取り組んでいます。

※2 アクセスコーディネーター:障害のある方がアート活動に安心して参加するための環境を整える人

※3 アカンパニスト:障害のある方と一緒に創作活動を行う人

4 主なプログラム

(1) 第1部＜創作＞ 会期:平成29年5月27日(土)～9月30日(土)

ア 1万人とつくる巨大インスタレーション作品

国内外1万人の参加により、第2部の会場を飾る巨大なインスタレーション※4作品を制作します。

学校・施設等で、特殊な糸を編んだり、枝に色を塗るワークショップを実施していきます。



井上唯あみあみワークショップ

※4 インスタレーション:場所や空間全体を作品として体験させる芸術

イ パフォーミング・アーツ作品制作

障害の有無に関わらず広く公募し、多様な市民パフォーマーを発掘します。出演者は、第2部の発表に向け、ワークショップ、リハーサルを重ねて作品を作りに上げていきます。



過去のワークショップの様子

ウ アクセシビリティ^{※5} 研究講座

障害の有無を問わず、誰もが参加し、楽しめる環境の整備や、鑑賞方法などを研究する講座を6月から11月にかけて開催します。

参加者は、第2部の会場で実際にアクセス・スタッフとして活動し、その経験を社会の中で活かしていきます。



社会にあふれる障壁を取り除くワークショップ

※5 アクセシビリティ:誰もが必要な情報に容易に辿り着き、支障なく施設などを利用できること

(2) 第2部<発表> 会期:平成29年10月7日(土)~10月9日(月・祝)

「不思議の森の大夜会」をコンセプトに3日間のフェスティバルを開催します。

第1部で市民とともに作り、準備してきたインスタレーション作品やパフォーミング・アーツ、音楽などが一体となり、参加者の個性が溶け合う不思議な世界が、象の鼻パークや象の鼻テラスに出現します。



インスタレーション作品イメージ(whitescaper)



インスタレーション作品イメージ(植物インスタレーション)



パフォーミング・アーツイメージ(現代サーカス)



パフォーミング・アーツイメージ(ツアー型パフォーマンス)

(3) 第3部<展示> 会期:平成29年11月~12月

市内数か所(横浜ラポールなど)を巡回し、第2部の記録映像やアート作品の一部、写真等を展示するほか、アクセシビリティ研究講座をはじめとした各種プログラムの成果と課題を振り返るシンポジウム等を開催します。

＜参考＞「ヨコハマ・パトリエンナーレ 2017」事業費 平成 29 年度予算

収入

項目	予算	備考
横浜市負担金	7,570 万円	うち、文化庁補助金 3,570 万円
協賛金、事業収入等	3,650 万円	
計	1 億 1,220 万円	

支出

項目	予算	備考
制作費	8,420 万円	作品制作費、会場設営・運営費 等
広報費	800 万円	P R 費、広報物制作費 等
事務局費	2,000 万円	事務局運営費
計	1 億 1,220 万円	